

特集 修復作業に思いを込めて

# 夢のハワイで 蛇まつり



ヘビが存在しないハワイに突然現れた老神温泉の「大蛇みこし」。国境を超えて文化交流をするまでになった「大蛇みこし」は、さまざまな挑戦をしながら、地域に根付き歴史を刻んできました

問合せ 老神温泉観光協会 ☎ 56-3013



YouTube



現地ハワイの学生さんと「セイヤ、セイヤ」でパチリ

常夏のハワイからは想像できない巨大な蛇のみこし。2000年3月、老神温泉のシンボル「大蛇みこし」がホノルルフェスティバルに出現し、地元の人と共に盛り上げ、大きな注目を浴びました。

練り歩いたのは、ワイキキのメインストリートのカラカウア通り1.4キロ。大蛇みこしはどこでも誰でも担げることが特徴で、担ぎ手の多くは現地で募った学生などのボランティアでした。学生らは見よう見まねで担ぎ、「セイヤ、セイヤ」と声をそろえて通りをジグザグにゆっくりと練り歩くにつれ、肩にかかる重さにも慣れて気持ちも高揚します。観客は初めて見る大きなみこしと、多くの学生が共に担いでいる光景に驚きを超え、歓声を上げていたといいます。みこしの先頭で最後まで踊り続けた人も多く、別れのときには「来年も来て」と涙。

ハワイ遠征は大成功。老神の祭りが国境を越え、心一つになってみこしを担いだことは、老神の誇りであり、忘れ得ぬ記憶として新たな歴史を刻みました。

大蛇は赤城山の神の化身。温泉で傷を癒やし、日光二荒山の神の化身である大ムカデを追い払ったと伝えられていることから、この周辺は「追い神」と呼ばれ、老神温泉の名の由来となっています。大蛇みこしは毎年5月、温泉の守り神に感謝する「大蛇まつり」で使われます。現在は7体



子どもみこし 先頭は上級生



いつの時代でも先頭は小学校6年生が担ぎ、下級生をリード。仕切り方は時代によって違うとか



ハワイの学生 太鼓を披露



ハワイ遠征では、現地ボランティアの学生が先頭の太鼓を。徐々に上手になり、共に楽しく盛り上がりました

老神温泉びつくり情報  
TOP5



老神温泉の知られざる情報を、老神温泉観光協会長がランキング